

1. 北海道（地域別調査機関：（株）北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		商店街（代表者）	・新しい駅舎が6月に完成して、オープンする予定であり、商店街ではイベントを計画している。このため、商店街への来客数の増加を期待している。
		商店街（代表者）	・空き店舗が少しずつ埋まってきているなど、釧路では駅周辺の経済状況が改善されつつあり、傾向としては良くなっている。
		百貨店（売場主任）	・春物については正規価格で順調に売上を伸ばしており、来月の値下げの時期で消化できると思われるため、5月以降の初夏物や夏物についても、正規価格で売ることができると予測している。
		家電量販店（店長）	・夏季商戦では、プラズマテレビや液晶テレビ、DVDレコーダーなどのAVデジタル家電が売れるため、パソコンの不調をカバーできる見通しである。
		乗用車販売店（役員）	・現在、販売量が前年と比べて伸びている状況であり、今後も悪くなる要素が出るとは考えにくい。
		観光型ホテル（スタッフ）	・グリーンシーズンを迎えること、また、イラク情勢の影響で、修学旅行など海外旅行を予定していた人が、国内旅行に切り替えることが予想され、それらの旅行者の相当数が、北海道に流れてくると予想している。
		旅行代理店（従業員）	・イラク情勢の早期解決を期待している。
		通信会社（企画担当）	・新商品が目白押しで、販売数が引き上げられると予想している。
		住宅販売会社（従業員）	・相続税、贈与税の緩和等、税制の改革が住宅業界には、相当良い影響を与えるのではないかと期待している。
変わらない	変わらない	商店街（代表者）	・客は低価格商品を支持しており、今後も単価の増加が期待できない。
		商店街（代表者）	・札幌駅の大規模複合商業施設のオープンに伴う新しい商圏の動きは一段落すると思われるが、客足がどのように動くか、まだ予想が立たない状況である。
		一般小売店〔土産〕（店員）	・ゴールデンウィークに向けて予想しているが、ここ1、2年、ゴールデンウィーク期間中は、航空運賃が高いということで、旅行者が増えない状態である。逆に、ゴールデンウィーク前後の方が、特割運賃が適用になるため、旅行者の増加を見込めるのではないかと考えている。
		スーパー（店長）	・客は食品の購入さえも慎重で、無駄な物は極力買わないという状況から判断して、この先の期待感はかなり薄いと思われる。
		スーパー（企画担当）	・札幌駅の大規模複合商業施設のオープン後も大きな消費環境の変化がみられず、期待していたほど、消費のプラス材料は見当たらない状況である。また、足元の傾向として、客一人当たりの買上点数が減少してきており、客の購買行動は慎重の度合いを強めているように思われる。
		衣料品専門店（店長）	・客の話からは、2、3か月後に景気が回復するというような感じは受けず、逆に将来に対する不安を感じているようである。
		家電量販店（経営者）	・客は先行き不安を拭えないようであり、改善がみられない状況である。こうした状況がしばらく続くと思われる。
		家電量販店（地区統括部）	・イラク情勢もあり、消費者マインドが回復してこない状況であり、客の様子見が多いように思われる。
		一般レストラン（スタッフ）	・前年の売上を維持することが難しい状況が、ここ1年以上続いているため、こうした傾向が、今後も続くと思われる。
		観光名所（職員）	・イラク情勢が終結しても景気が良くなるとは思えない。
美容室（経営者）	・客の生活パターンが固定化しているようで、急に良くなったり、悪くなったりするような感じが見受けられない。		
やや悪くなる	やや悪くなる	百貨店（売場主任）	・イラク情勢の影響で、消費が低迷すると思う。
		百貨店（販売促進担当）	・札幌駅の大規模複合商業施設がオープンしたが、全体では市場のパイは変わらず、パイの食い合いという状態となっている。
		コンビニ（エリア担当）	・来客数や購買点数などは変わらないが、価格の安い商品にシフトしている。この傾向は年明けから続いている傾向であり、これからも続くことが考えられる。
		コンビニ（エリア担当）	・公共工事の減少が確実であり、この影響により男性客が減少すると思われる。

	コンビニ（エリア担当）	・公共工事の減少が、大きな影響を与えると思われる。
	乗用車販売店（従業員）	・乗用車の買替えサイクルが、更に延びてきているように思われ、まだ乗れる車はなかなか買替えに結びつかないようになっている。
	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	・イラク情勢の長期化による原油の高騰が予想される。
	高級レストラン（経営者）	・3月は歓送迎会シーズンなので、前年並みの売上を維持しているが、3か月後にはイラク情勢の影響が出てくると思われる。また、依然としてデフレ経済が続き、不況は免れない状況である。特に飲食業界は苦戦するだろうと考えられる。
	高級レストラン（スタッフ）	・長引くと思われるイラク情勢の影響が客足を鈍らせ、消費の低下が現れる。
	観光型ホテル（経営者）	・イラク情勢による社会世相への影響が懸念される。また、予約状況も厳しく、これに医療費の負担増と発泡酒の増税問題が絡み、悪化の度合いが増すのではと思われる。
	タクシー運転手	・札幌駅の大型複合商業施設の開業効果がいつまで続くか分からないが、規制緩和により個人タクシーが一挙に約130台増えるとともに、法人タクシー会社も増車を行っており、札幌市内のタクシーの台数が増えているため、競争が激しくなることが予想される。
	タクシー運転手	・イラク情勢の影響により石油価格が上昇し、それに伴いLPガスの価格も上昇することが予想され、コスト高につながる。また、タクシー台数も増加するため、現状よりも売上は減少すると思われる。
	観光名所（役員）	・ロープウェイの予約状況から判断して、やや悪くなると思われる。
	美容室（経営者）	・今までは国内の政治、経済により、不況に陥ったが、現在は、イラク情勢、石油問題、北朝鮮問題等の問題が解決し、世界情勢が安定しない限り、株価を含めて景気回復は良くなるのではないかと思う。
	住宅販売会社（従業員）	・客足の悪さは、全て経済不安の影響であるという傾向が、非常に強くなっている。そのため、これから数か月で、経済回復は考えられず、現状維持がやっとであると思う。
悪くなる	スーパー（店長）	・最近の株安、失業率の増加、大手銀行の経営悪化にともなう連鎖倒産の懸念など、将来に対する生活不安が増大する傾向にあり、消費支出は減少傾向になると思われる。また、札幌の特殊と件として札幌駅の大型複合商業施設の開業による既存小売店への影響も想定される。
	コンビニ（エリア担当）	・管内の高校生就職内定率が非常に低下しており、管内の地方公共団体でも給与のベースアップが行われず、更には人員削減が行われているので、先行きに対して不安感が出ていると思う。
	住関連専門店（従業員）	・イラク情勢による景気の悪化は止められないと思う。
	一般レストラン（スタッフ）	・イラク情勢の影響で消費者のマインドが冷え込む。
	スナック（経営者）	・イラク情勢の影響がかなり出てくると思う。
	旅行代理店（従業員）	・イラク情勢の本格的な反動は2～3か月後にくると予想される。
	旅行代理店（従業員）	・イラク情勢が落ち着かない限り、景気回復は見込めない。
	旅行代理店（従業員）	・イラク情勢が短期で解決しても、旅行需要は急速には回復しない。
	設計事務所（所長）	・先行き不安感がなくなる限り、長期ローンを組むことへの不安から、住宅や小店舗の動きは鈍いままである。動きがみられても極端な低予算のなかでの仕事の取り合いとなることが予想される。
企業動向関連	良くなる	-
	やや良くなる	司法書士

変わらない	食料品製造業（社員）	・イラク情勢による原油価格の高騰および戦後復興費用の負担など、日本の抱えている状況には支出増の気運が大きい。国債発行、または補正予算など国際的見知から歳出増による増税問題も出てくる可能性を秘めている。総じて、リーダーシップの不足による国内経済の混乱という様相もあり、景気浮揚の気運になく、現状維持が精一杯である。	
	食料品製造業（団体役員）	・季節要因による消費の増加は期待できるものの、市場のバイは変わらないため、景気動向に大きな変化はない。また、株価や不良債権処理の問題が改善されないため、中小企業の設備投資、雇用環境の見通しに明るさがない。	
	家具製造業（経営者）	・イラク情勢という外的要因が、日本経済、更には家具業界にも影響を与えようと思われる。	
	金属製品製造業（統括）	・季節的には住宅建設工事も動きだすと思われるが、現在の景気動向から住宅需要が大きく拡大していくとは予想しにくい。	
	輸送業（営業担当）	・消費動向が良くなる見通しがないことから、現状より上向くとは予想できない。	
	通信業（営業担当）	・3か月という短期で回復するような要因が見当たらず、現状維持が精一杯という感じである。	
	通信業（営業担当）	・今月は若干上向きの気配があったが、急激な変化はないと考えている。	
	金融業（企画担当）	・季節要因もあって建設業などではマインドは改善されるが、札幌駅の大型複合商業施設の開業により、地方都市の消費停滞が予想される。	
	広告代理店（従業員）	・これから観光シーズンであるが、函館には札幌の大型複合商業施設のオープンほど、インパクトのある話題がない。また、8月には大手百貨店の閉店もあるため、逆に少し落ち込む可能性もある。	
	その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・今後も設備投資の引き合いが増えない。	
	その他企業〔コンベンション担当〕（従業員）	・婚礼の取り合いで過当競争になっており、価格が下がっている。このことが売上減少に大きな影響を与えており、今後も厳しい状態が続くと思われる。	
やや悪くなる	輸送業（経営者）	・デフレ状況やイラク情勢による燃料の高騰が、経済に相当影響を与え、悪化させるのではないかとと思われる。	
	輸送業（支店長）	・イラク情勢の影響等による原油の値上がりは企業収益にボディーブローのように効いてきている。現実にも、直近では陸運業界においてガソリン、軽油の値上がりが、収益圧迫という形になって現れてきている。	
	その他サービス業〔建設機械リース〕（営業担当）	・イラク情勢による影響が出てくると思う。	
	その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・車両業界では排ガス規制、速度規制等があるため、末端の業者はますます厳しくなる。建設業界も同じであり、社会の根幹の業種はまだ厳しい状況が続くものと思われる。	
	その他非製造業〔機械卸売〕（従業員）	・鉄骨加工業の中堅、大手はそこそこの仕事量は確保しているものの、鋼材、副資材が値上がりしており、なかなか単価アップを認めてもらえない状況である。	
悪くなる	食料品製造業（経営者）	・イラク情勢の影響による景気後退不安から、消費マインドの冷え込みが予想され、商品の販売量が減ると予想される。	
	その他サービス業〔システムハウス〕（経営者）	・イラク情勢、北朝鮮問題、ドル安、株安、大手銀行の赤字決算など、不景気に追い打ちをかけるような要因ばかりが目白押しである。	
雇用関連	良くなる	-	
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・札幌駅の大型複合商業施設の求人が落ち着いているにも関わらず、求人件数は増加していることから、サービス業で忙しくなり始めているような感じがする。
		職業安定所（職員）	・今夏に、市内の空き店舗跡に大型スーパーが入居する商業施設の進出が2件予定されており、雇用需要が見込まれる。
変わらない	人材派遣会社（社員）	・短期的な求人が多くなっているため、全体としては変わらない。	
	求人情報誌製作会社（編集者）	・求人件数は、建設業を除いた業種のほぼ全てで対前年比を上回っているが、今後これといって求人が活発化する要素が見当たらない。	
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・イラク情勢が早期に終結、北朝鮮問題が解決し世情が安定するまで景気はこの状態が続くのではないかとと思う。	

	職業安定所（職員）	・パートの求人が増加傾向にあるものの、有効求人倍率は依然として低い水準で推移している。
やや悪くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・常用雇用の採用枠の大幅な減少により、パートやアルバイトなどの臨時・期間雇用の増加につながっている。また、相対的に報酬額が下がり、可処分所得も減少することが懸念される。
悪くなる	職業安定所（職員）	・大手百貨店の閉鎖を控え、離職者の増加が見込まれる。